

平成27年度 事業報告書

法人の名称 特定非営利活動法人
ワーカーズ・コレクティブ
ケアびーくる

1 事業の成果

1) 単独では移動が困難な市民が生活の質を高められるよう、市民が持つリソースを発揮して「新しい公共」の一翼を担いました。

参加型福祉の実現と地域に不可欠なサービスの存続を図るため、参加者の拡大に努めました。

NPOである利点を生かして、利用者ニーズに柔軟に対応して移動支援活動を行いました。依頼にはできる限り応え、当日依頼にも可能な限り対応しました。近年の大きな課題であった福祉車両の更新を実現することができたことは今年度の大きな出来事でした。これまでになく、多くの助成制度に応募し、助成を受けられたことで、会の健全運営にとって大きな助けとなりました。

利用者の入所、長期入院、逝去などもあり、件数は伸び悩みました。毎日の通所・通学の利用は今年度もありませんでした。一時期でしたが、定期的な透析の利用がありました。

- 2名の新たな運転会員の参加がありました。法定の「運転者講習会」を受講し、内部研修を経て1名は常時の活動が始まっています。
- 昨年度から活動を始めていた新しい運転会員のうち、1名が市外に転居、もう1名は市内の他事業へと活動の場を移しました。70歳の誕生日で、1名は定年延長、1名は運転会員を終了し、運行管理等に引き続き携わっています。また、ベテラン会員が定年を待たず、3月末で運転会員を退きました。当会にとっては運転の担い手の不足は引き続き深刻で、ワークの担当決めはぎりぎりのことが多くありました。事務局の慢性的な人手不足も相変わらずで、会員の充足は引き続き大きな課題です。
- 会員は3月末現在40名です。日々の活動の参加者は23名（内、運転会員18名）、セダンの使用車両登録は15台でした。
- 今年度も無事故で1年を終えることができました。

2) 利用しやすい移動サービスを実現するため、大和市・神奈川県・国との協働や他団体・他機関との連携をすすめました。

- 大和市とは引き続き協働事業を実施し、利用者など市民の方々の移動の確保に貢献しました。
- 協働事業を開始してから13年目となります。
3年毎の更新のため、7月に協働事業の提案を行い8月に継続が決まりました。

- 協働事業協定書にもとづき、大和市からは引き続き、福祉車駐車場（4台分）およびストレッチャー等の保管場所、負担金の提供を受けました。てのひら号のストレッチャーが増えたため、保管場所の確保に尽力して頂きました。
また、てのひら号のお披露目式には、会場設定など協働でお骨折りいただきました。
- 大和市福祉車両利用助成事業に関する受託事業を引き続き行いました。
- コミュニティ・オブティマム福祉地域協議会大和で政策提案をしました。
- 市が設置している「大和市地域公共交通連絡協議会」にケアびーくるからメンバーが参加しました。
- 介護保険制度の改正に係る生活支援サービスの拡充など、新しい総合事業と移動サービスについての学習会などに引き続き参加しました。
- 市内で開かれた、かながわ福祉移動サービスネットワーク主催の運転者講習会に講師の派遣、車両提供を行いました。
- 地域福祉の充実に関しては、以下の組織やネットワークに引き続き参加し、連携・交流を深めました。
 - ・コミュニティ・オブティマム福祉地域協議会 大和
 - ・神奈川 W.Co 連合会移動サービス部門会議
共育実行チームに委員として参加するなど、積極的に関わりました。
 - ・NPO 法人かながわ福祉移動サービスネットワーク

3) 様々なニーズにきめ細やかに対応できるよう、運行管理者、運転会員で情報共有を図っています。必要に応じ、個別の地域包括ケア会議にも出席しました。利用者の「安全と安心」の確保に努めました。

- 適宜、メンバーが講習会や研修に参加し、日頃のワークに生かしました。（安全運転講習会、共育講座、学習会等）
- W.Co 想の協力を得て、移乗技術とワーカーの健康管理についての研修を行いました。
- 冬季の安全確保のため、福祉車 2 台（新キャラバン、ハイエース）にスタッドレスタイヤを装着し、雪の日対策を行いました。
- 更新した福祉車両 2 台の操作マニュアルはメンバーが率先して作成中です。
- 必要に応じ、ストレッチャーの扱い、福祉車両の車いす固定操作の再確認等の研修を個別対応で行いました。
- 毎月の定例会で、より良いサービス提供に向けて情報交換を行い、きめ細やかなサービス提供ができるよう努めました。受講した安全運転研修の内容や「ヒヤリハット」の共有も図りました。
- インフルエンザやその他の感染症対策として引き続き、各車両にアルコール消毒液を備え、サービス終了時の消毒を行いました。
- 運行管理は運行担当者会議で運行体制の調整を行いました。正確かつきめ細やかな対応ができるよう、努めました。
- 日本財団の事務局検定に合格しました。

4) 今後の会の存続を見据えて活動を進めてきました。

- 神奈川県指定 NPO 法人となるため準備を進め、3月25日付で条例指定されました。
- デイ南林間なんてんが11月に閉所したことに伴い、NPO 法人ひよどりよりハイエース（ハッピー号）を無償譲渡して頂きました。
- 福祉車両更新に向け、7月に日本財団福祉車両助成 事業に応募し、キャラバンの助成が11月に決定しました。3月21日に納車され、同月26日に関係部署の方々の臨席のもと、お披露目式を執り行いました。
- 旧ハイエースは1月中旬に市内 NPO 法人子ども身体能力開発協会に無償譲渡しました。また、旧キャラバンは2月初めに手放すことで車検費用を節約しました。このため、一時、福祉車は3台でやりくりしました。
- 前年度に申請していた「第3期福祉たすけあい基金助成金」のほか、経年劣化していたスタッドレスタイヤの更新に日揮社会福祉財団の助成を受け、また、W.Co 想より寄付も頂きました。
- 利用拡大とメンバー募集を兼ねた無料体験ツアーを実施しました。タウンページに広告を掲載し3組の参加があり、1名の利用会員入会に結びつきました。W.Co 基金の助成を受け、掲載に充てました。
- 利用者拡大に向けて1月から入会金を1000円に値下げし、一回限定利用は入会金・年会費なしにしました。値下げにより新たな介護事業所からの依頼などもありました。
- FM やまとの「大和市民活動センターだよりやまとっこ☆みつけた」に出演しました。番組を聞いた人から活動参加の問い合わせがありました。
- 支出を抑えるために、年度当初よりワーク料の分配率を下げ対処しました。分配率は半期経ったところで見直しましたが、財政的に厳しい状況が続くため、12月までは引き続き10%下げることとしました。その後1月からは県指定 NPO 取得に際しての指導もあり、県の最低賃金を満たすよう、分配率を上げました。
- 年間を通じて経費削減に努めました。会の電話は契約し直し削減効果が上がりました。
- リーフレットは業者印刷のものにしました。メンバー募集のチラシを新たに作成しました。時宜を捉え、リーフレットやチラシを配布しながらケアびーくるの活動をアピールし、利用拡大とメンバーの勧誘に努めました。
- 中・長期計画を作成しました。

5) 毎日の定期メールで情報を共有し、こまめな情報交換と問題解決に努めました。

- 理事会と定例会を毎月開催しました。定例会はメンバー相互の情報交換の場とし、日々の問題点を共有するとともに、解決に向け話し合いました。
議事録をメールで全員に送信し情報の提供を行い、共有化を図っています

6) 地域への情報提供をおこないました。

- ホームページの充実、ブログ更新に努めました。
- 朝日新聞の桜ヶ丘インフォメーションに広告を掲載して頂きました。(6回)
- お披露目式はタウンニュースにも記事として取り上げて頂きました。

2 事業内容

特定非営利活動に係る事業

① 外出介助等のサービス事業

ア ケア事業

- ・内容 通院入退院、通所通学、買い物等の外出介助および付き添いサービス
- ・日時 通年
- ・場所 大和市および隣接した市区
- ・従事者人員 23人
- ・対象者 移動制約者 222人
- ・支出額 9,221,462円

イ 大和市福祉車両利用助成事業に関する受託事業

- ・内容 大和市福祉車両所施事業対象者における外出介助及び付添サービス
- ・日時 通年
- ・場所 大和市および隣接した市区
- ・従事者人員 25人
- ・対象者 移動制約者 43人（のべ利用者536人）
- ・支出額 1,882,415円

ウ デイ南林間なんてんの運行管理に関する受託事業（平成27年11月末まで）

- ・内容 デイ南林間なんてんの運行管理事業
- ・日時 平成27年4月～11月
- ・場所 大和市
- ・従事者人員 6人
- ・対象者 デイ通所者 15人
- ・支出額 11,054円

② 地域に向けて研修、啓発をはかる事業

ア 内容 利用拡大とメンバー募集を兼ねた無料体験ツアー実施及び、広告掲載

- ・日時 平成27年11月
- ・場所 大和市内
- ・従事者人員 5人
- ・対象者 移動サービスを受けたことのない方とそのご家族
3組参加
- ・支出額 50,000円（タウンニュース広告掲載料）

イ 内容 市内で開かれた、かながわ福祉移動サービスネットワーク主催の運転者講習会に講師の派遣、車両提供

- ・日時 平成27年11月
- ・場所 大和市内
- ・従事者人員 2人
- ・対象者 運転者講習受講者 50人
- ・支出額 0円

③ その他、この会の目的を達成するために必要な事業